



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## ハナオチバタケ：(箕面国有林内・大阪府)

トピックス：民有林への技術支援（民国連携推進事業）の取組について  
(技術普及課)

ニュース：岡山森林管理署、兵庫森林管理署、島根森林管理署

花草木：デュランタ（タイワンレンギョウ）

我が署のスタッフ：山口森林管理事務所

森林事務所等紹介：生桑森林事務所（広島北部森林管理署）

国有林最前線：島根森林管理署

## 民有林への技術支援（民国連携推進事業）の取組について

### 【技術普及課】

林野庁では、「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき策定（令和5年12月）された「国有林野事業の管理経営に関する基本計画」により、市町村のニーズに応じて、森林・林業に関する研修への市町村職員等の受入れや、公的管理を行う森林の取扱手法の普及など、府県と連携して市町村の森林・林業行政等に対する技術支援に積極的に取り組むとしています。

このことを踏まえ、近畿中国森林管理局では、地域における森林・林業施策全体の推進に貢献するため、国有林のフィールドを活用し、民有林関係者を対象とした現地検討会を開催するとともに、職員研修を活用した「市町村林務担当者実務研修」を実施していますので、その内容をご紹介します。

### 1. 現地検討会等の開催

①成熟期を迎えた貴重な森林資源を有効かつ循環利用するため、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現、②産業界や大学等との連携による林業の低コスト化及び省力化等に関する技術開発・実証を推進するとともに事業での実用化を図ることで効率的な施業を展開しています。

また、このような取組について、民有林への普及を念頭に置き、各森林管理署等で現地検討会を実施し、昨年度は、延べ392名の民有林関係者に参加いただいています。

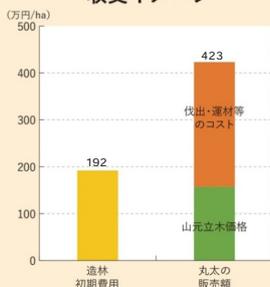


滋賀署：現地検討会（奥島山国有林）

### ○伐採と再造林の一貫作業システム

伐採と造林を同一の契約で行う一貫作業の導入は、地拵えや植付けの省力化により再造林コストの低減が図られるほか、一年中植栽が可能なコンテナ苗の導入によって下刈の回数も削減できることから、現地検討会では、そのメリットとともに、コンテナ苗の植栽方法、シカ侵入防止柵の管理技術などの関連技術を紹介しました。

資料Ⅱ-20 現在の主伐と再造林の収支イメージ



注1：縦軸はスギ人工林（50年生）のha当たりの算出額。

2：造林初期費用は令和4（2022）年度標準単価より試算（スギ3,000本/ha植栽、下刈り5回）。

3：山元立木価格及び丸太価格は315m<sup>3</sup>/haの素材出材量と仮定して試算。

資料：農林水産省「令和4年木材需給報告書」、一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調査」（令和4（2022）年）

出典：令和4年度森林・林業白書



岡山署：一貫作業箇所（天木山国有林）

### ○低コスト省力造林

下刈は、造林に係る初期費用の約5割を占めるほか、一般的に夏季の炎天下に作業を行うため、熱中症や蜂刺傷のリスクも高く、非常に過酷な作業となっています。

造林の省力化として、雑草木との競合状態を見極めながら下刈の回数を削減するとともに、秋冬に下刈を実施することで、作業員の負荷軽減や労働安全性向上につながることを期待されていることを紹介しました。



三重署：下刈実施箇所（ごんゆうだに 悟入谷国有林）

### ○新しい有害鳥獣防止対策

和歌山県南部の国有林内で、新たに安価で軽いイノシシ用の円形ネット式囲いワナを改良したシカ用円形ワナの実証を行ったことから、その改良点（①上部ネットの追加、②アーチ状入口の設置、③ネットと支柱を留め金具で固定）や、円形ワナのメリット（①安全な止め刺しが可能となったこと、②捕獲したシカが傷つかないことでジビエ利用に有効であること）などを紹介しました。



和歌山署：円形ワナ（にしのごう 西ノ河国有林）

## 2. 市町村の森林・林業行政に対する技術支援

近畿中国森林管理局では、民有林の人材育成支援の取組として、職員研修を活用した市町村林務担当職員の技術習得として「市町村林務担当者実務研修」を令和4年度から実施しています。令和5年度は、森林・林業の基礎研修（森林の見方・森林の育成・森林の収穫）、ドローン操作技術者育成研修に市町村の林務担当者10名が参加しました。



局：ドローン操作技術者育成研修（大阪府能勢町）

※これら民有林への技術支援の取組については、近畿中国森林管理局のホームページにおいて参加募集や実施内容を掲載し随時情報を更新していますのでホームページをご覧ください。

URL：<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## 請負事業体等の安全パトロールを実施しました。

【岡山森林管理署】

岡山森林管理署では請負事業体等の労働災害防止に資するため、6月以降、造林、素材生産、治山、林道の各事業、立木販売、樹木採取権箇所において、署長による請負事業体等への安全パトロールを実施しました。



林道災害復旧工事箇所での安全パトロール



立木販売箇所での安全パトロール

6月12日(水)には、遠藤<sup>えんどう</sup>国有林内の林道災害復旧工事箇所<sup>うるいだに</sup>で、6月25日(火)には、宇類谷官行造林地の立木販売箇所<sup>うるいだに</sup>で安全パトロールを行いました。

当署からは、請負事業等における重大災害の発生状況について情報提供するとともに、熱中症の予防等について注意喚起を行いました。岡山森林管理署では、引き続き、関係機関等とも連携を図りつつ、請負事業体等の労働安全の確保に取り組むこととしています。

## 「トライやる・ウィーク」～中学生の職場体験～を受け入れました。

【兵庫森林管理署】

兵庫森林管理署では、6月3日(月)から7日(金)までの5日間、職場体験「トライやる・ウィーク」として宍粟市立山崎西中学校の2年生6名を受け入れました。

この活動は、兵庫県内で中学生を対象に実施されているものです。中学生が職場体験や福祉体験など、地域での様々な社会活動を体験し、社会的自立に必要な能力を育成することを目的としています。

職場体験では、測量機器を使用した国有林と民地との境界の測量、シカ等の食害から希少植物を守るための防護柵修理、治山事業現場での流木の撤去作業及び林道の改修作業等、様々な業務を体験しました。測量機器の業務体験では、積極的に測量機器の操作や作業等を行い意欲的に取り組んでいました。

最終日には、5日間の体験を通じて生徒たちが学んだことや感じたことをもとに、国有林をPRするポスターを作成しました。

今回の職場体験を通じて、森林や林業への興味関心が高まるとともに、生徒一人ひとりが働く意義について学習するきっかけになることを願っています。



生徒達が作った国有林PRポスター

兵庫署のこの記事のページ  
<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hyogo/information/240624.html>



## 令和6年度姫逃池カキツバタ保全事業に参加しました。

【島根森林管理署】

6月9日(日)、三瓶山北の原(島根県大田市)にある姫逃池において、島根県主催の「令和6年度姫逃池カキツバタ保全事業」が実施され、島根森林管理署から大田森林事務所森林官が参加しました。

当日の作業では、カキツバタの競合種となるヨシやススキ、ネザサ、セイヨウスイレンなどを除去しました。



池の中に入り競合種を取り除く作業



三瓶山とカキツバタ【5月撮影】

とで姫逃池やカキツバタ保全への関心を高めてもらうこと、関係団体で協力して行うことで団体間の親和を図ることを目指しています。

島根森林管理署としても引き続き、本活動に参加していきたいと考えています。



参加者約50名の集合写真

## お知らせ

### 森林のギャラリー (局庁舎1階)



【技術普及課】

○7月6日(土)～7月31日(水)の展示は、近畿地方環境事務所、技術普及課、大阪みどりのトラスト協会です。

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【三重森林管理署】

○「大杉谷国有林からの手紙(61通目)」を発行しました!大杉谷国有林からの手紙は、三重森林管理署の大杉谷国有林での取組等についての紹介です。

詳しくは下記のホームページに掲載のPDFファイルをご覧ください。これまでのバックナンバーもご覧頂けます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



【森林技術・支援センター】

○職員フォト

職員が目にした自然の光景や行事の風景など、随時更新しています。(2024年6月25日更新)

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g\\_center/photo.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/photo.html)



【箕面森林ふれあい推進センター】

○フォトギャラリーをホームページで公開しています。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/digcam/syashin.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/digcam/syashin.html)



## 花草木

### 【デュランタ（台湾レンギョウ）】

デュランタ（台湾レンギョウ）は、クマツヅラ科ハリマツリ属（デュランタ属）の常緑性花木です。別名ハリマツリといいます。原産地は、北アメリカ南東やブラジル、西インド諸島などで、熱帯性植物のため、暑さに強い一方で寒さにはやや弱い性質です。ただし暖地なら戸外でも越冬でき、大阪市内では公園等でも見かけます。開花する期間が長く（6から9月）、垂れ下がる花茎に径1cmほどの紫色の花を房状につけ、次から次に開花します。花の後には愛らしいオレンジ色の実を鈴なりにつけますが、毒があるので、幼児やペットが誤って口に入れることのないように気を付けてください。樹高は30～200cmの低木で、剪定によって樹高をコントロールすることができます。



大阪市内の公園で見つけた台湾レンギョウ花です

デュランタ（台湾レンギョウ）の花言葉は、「あなたを見守る」「歓迎」などです。

## 我が署のスタッフ 山口森林管理事務所

三浦 夕（みうら ゆう）（R5年度採用）

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループで管理を担当しています。国有林野の貸付や境界の管理など、主に管理業務と測定業務に携わっています。現在の担当に就いて数か月経ちますが、いまだに慣れず、てんやわんやな日々を送っています。

### 【職場の雰囲気は？】

和やかな雰囲気、質問や相談がしやすい職場です。質問をすると、経緯や仕組みなど、細かいところまで教えて下さるので、とても勉強になっています。

### 【林野庁の魅力は？】

新人研修の手厚さが魅力だと思います。

林業とは縁もゆかりもない高校を卒業したため、周囲に置いていかれるのではないかと入庁時には一抹の不安を覚えました。しかし、研修で基礎の基礎から教えていただけるため、林業知識ゼロの私でも安心でした。見聞きすること全てが新鮮なので、むしろ経験のない方こそ楽しめるのではないかと思います。



3Dレーザスキャナで計測中

## 森林事務所等紹介

いけくわ

### 生桑森林事務所（広島北部森林管理署）

森林官 宮崎 亮一（みやざき りょういち）

生桑森林事務所は広島県と島根県の県境に近い安芸高田市あきたかたに所在し、安芸高田市高宮町たかみやと美土里町みど里を管轄区域とした9団地、約2,800haを管理しています。気候は中国山地内陸型で豪雪地帯にも指定されており冬季の積雪が多く、文化面では神事であると同時に伝統芸能の一つでもある神楽の継承・保存活動が盛んな地域でもあります。

当事務所の管轄区域の特色は、国有林野事業の中でも木材生産・林業経営に位置づけられる事業が盛んに行われていることが挙げられ、犬伏山国有林いぬぶせやま（美土里町）・熊谷山国有林くまたにやま（高宮町）を中心に素材生産事業をはじめ立木販売、造林事業（新植・下刈など）といった各種事業を展開しています。



写真①令和5年度生産事業個所（犬伏山国有林）

令和5年度には森林整備事業として、保護伐（2.5ha以下の小面積皆伐）と間伐を組み合わせた一体的な施策を実施しました。本事業では木材の生産・販売に加え、保護伐により異なる林齢がモザイク状に配置された森林に導くとともに、間伐によって林内の光環境を改善し、豊かな下層植生に誘導するといった公益的機能の発揮に向けた森林整備に取り組みました（写真①）。



写真②低密度植栽試験地令和6年度現地検討会（時鳥山国有林）

また、時鳥山国有林ほととぎす（美土里町）において、令和4年度から低密度植栽試験にも取り組んでいます。

再造林の省力化とコストの低減を図る観点から、1,500本/ha植栽区と対照区となる2,000本/ha植栽区を設定し、植栽密度の異なるヒノキ苗の生育調査を基に今後の施策のあり方を検討していきます（写真②）。

先に挙げた事業や取り組み等を通して、持続的な森林経営を担う国有林の職員として、10年・20年先を見据えて日々の業務に臨んでいきたいです。

# シリーズ『国有林最前線！』

## 『若手職員企画・制作でYouTube動画発信』

島根森林管理署

近畿中国森林管理局では、令和5年度から国有林野の役割や国有林野事業の取組について、若手職員の視点から豊かな発想により企画・制作する「動画ワーキングチーム」を設置しYouTube動画を発信しています。

その中で、島根森林管理署は若手職員7名でチームを組み企画会議を始めました。

動画の制作は、企画から撮影、編集などすべてを任されています。当初は何の動画を、どういった層に向けて作ればいいのかかわからず、途方に暮れることもありました。また、今どきのいわゆる「映える」動画では、森林とはうまく結びつかず、素材の味を出し切れないではという意見が多発しました。

ならばと、逆にシンプルに、ドローンで撮影した映像を編集し、高画質で身近な森林をアピールすることにしました。

島根県を代表する三瓶山や大江高山、また、天然林に限らず人工林なども撮影し、編集作業の際も、大げさな効果音や色合い調整をすることなく、自然そのものの姿、素材本来の良さを引き出すように努めました。誤魔化しが効かない分、繊細な編集を繰り返す作業となりましたが、かけた時間に見合う作品となりました。(近日公開予定)

この動画を通じて、自然のありのままの美しさ、壮大さを味わっていただきたいと思います。

また、引き続き第2弾の動画制作を進めていますのでお楽しみに、乞うご期待。



企画会議で多くの提案が出される



公開動画の一コマ

近畿中国森林管理局が制作した動画一覧

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/douga\\_index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/douga_index.html)